

眞子²⁹から無言の圧力

縁談は白紙に希望するも...

秋篠宮⁵⁵さまが言わされた 結婚容認の真相

羽生²⁵結弦 誰にも見られたくない 連夜の3時間 極秘練習

取香 慎吾⁴³ 八中にキムタクものまね ちよ、待てよ!

光GENJI スゴすぎ伝説7



JO1 新星イケメン11人

12月15日号 特別定価420円 主婦と生活社

嵐 相葉雅紀³⁷あ、番組ピンチ... 遺志継ぐ思いが空回り
 二宮和也³⁷創立記念の母校に届けた、愛のメール
 松本潤³⁷このままじゃダメ 強まる舞台への憧れ
 吉永小百合⁷⁵最強のパトロンが注ぎ続けた愛と金

炎上大賞 2020

朝ドラ『おちよん』最新ガイド

吉田⁶¹ 夜な夜な頑張った! 22歳年下妻 オメデタ
 山P³⁵ カナダでも話題! 新マネージャー正体
 さいたま市・卑劣レイブ

違約金 ウラ事情

ミスター慶応²⁴とその悪友 家族が漏らした呆れる言い分
 舌 わかるで病気 閉経・更年期 ナ不調 不安 消える1分習慣

お金特集
 死後離婚 3つのメリット
 LINE証券 500円で株デビュー
 火災・地震保険 緊急見直し 1月値上がり!

食材ムダゼロ 料理帖

見捨てる高齢者... 今すぐ備えを!
 コロナ大爆発 迫る5つの危生活

60歳前 ヤメる 出費 25
 人間ドック 新聞年賀状... 25年で4000万円の差

第3波 真っただ中 緊急事態宣言の可能性も

コロナ感染大爆発

迫る5つの生活危難

感染爆発で医療崩壊が起きたイタリア。介護施設から感染者を移動させる様子=3月

新型コロナウイルスの猛威が止まらない。このまま感染拡大が続くと、私たちの暮らしはどう変わってしまうのか――。

全国の新規感染者数は2000人を超える日もあり、新型コロナウイルスの猛威が止まらない。

東京都でも医療崩壊を引き起こすレベルの感染者数と重症者数になりつつある。

大阪府では新規感染者数、PCR陽性率、感染経路の不明割合など政府の分科会が定めた感染状況の6項目の指標のうち5つがすでに超過。残るひとつの病床の逼迫度合いも警戒基準値が目前に。

11月26日、全世界の感染者

高齢者は重症化しても治療しない
受診控えで持病が悪化する
デイサービス停止……

感染拡大が続けば、こうして家族3世代が集まり、肩を並べ笑い合うこともできなくなる



数が6000万人を突破。他国で起きているようなパンデミックが日本でも現実のものになるうとしている。

懸念される感染大爆発は起こるのだろうか。専門家に聞いてみると――。

「気温や湿度と新型コロナウイルスの広がりやすさに関する研究はいくつかあり、温度・湿度の低い地域では高い地域よりも広がりやすいという結果が出ています。春先の

私たちが答えました



内科医 田中雅之さん

KARADA内科クリニック勤務。東北大学大学院で医学研究にも従事。日本感染症学会専門医「患者様のニーズや不安を受け止め、ともに考え、診療を進めたい」と心がけています」



医学ジャーナリスト 植田美津恵さん

医学博士。愛知医科大学客員教授、東京通信大学准教授。専門は公衆衛生学、医療制度など。各大学で教壇に立つほか、医学番組の監修、講演活動をこなす。著書も多数



経済ジャーナリスト 荻原博子さん

家計経済をはじめ、市民目線のわかりやすい解説でマネーに関する幅広い分野で活躍。コメンテーターや解説者としてテレビやラジオなど出演するほか著書も多数

ように外出を自粛するなど私たちの行動がかわらない限り、感染者数も重症者数も増えるというふうです」

と、そう遠くない未来に感染爆発が起こると、そう

「ひとつは現在の第3波がおさまらずに感染者が増え続けることが考えられます。もうひとつは、この後いったんは落ち着いたとしても、年末年始の人の流れで年明けにまた増える。こうした感染の増加と減少を繰り返しながら、事態は続いていくでしょう」

年末年始にかけての感染対策が重要なことは明白だが、相手は未知のウイルス。前出・植田さんは警鐘を鳴らす。「万一、ウイルスが変異する

西村経済再生相は「緊急事態宣言」の可能性も示唆した 11月25日



「こともありえます。そうなれば欧米のような悲劇が起こらないとは言いません」
 欧州各国は強烈な第2波に見舞われている。第1波のときのような医療崩壊を防ぐため、夜間の外出禁止や都市間境界を封鎖、移動を制限するなどの厳しい措置が続く。
 イタリアでは結婚式や葬儀の禁止、日中の外出も制限されている。フランス・パリなどは外出申請書や身分証明書の携帯が義務づけられ、違反者には罰金も科せられる。
 日本でも今のような状況が続けば、私たちの暮らしはどう変わってしまうのか――。
まず、目の前に迫るのは医療崩壊だ。

春先は新型コロナウイルスの対応に医療機関も手探りの状態だった。増える感染者に病床が足りず、受け入れ先の確保が問題になっていた。

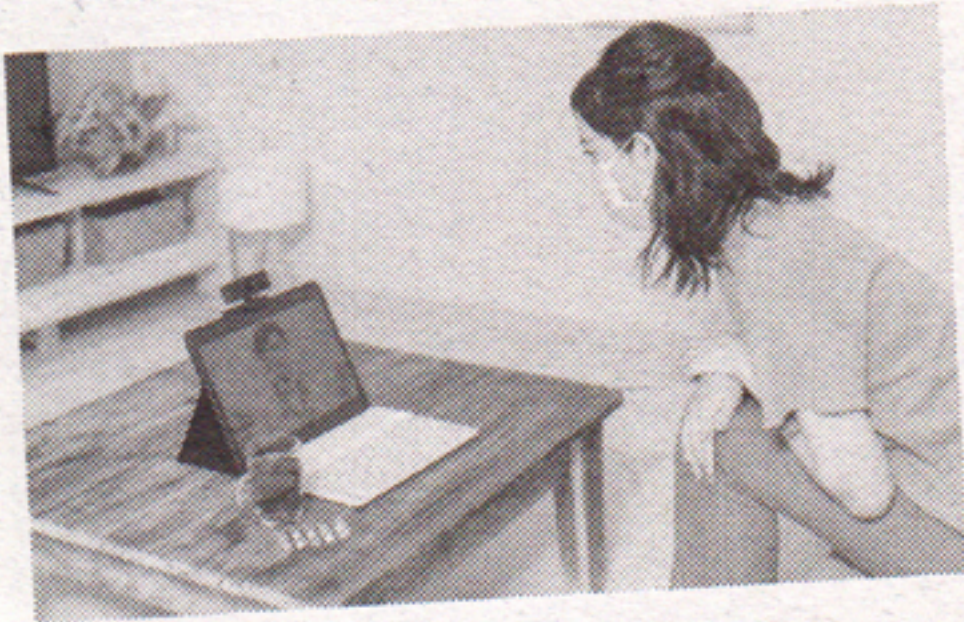
今は当時の経験やデータをもとにして対策を強化。受け入れ先の病床を増やしているが……。

「日本では欧米のようなロックダウンや外出規制をしていないので、この先も感染者や重症者が増え続ける可能性はあります」

前出の田中医師はそう見通し、注意を呼びかける。

「今の状況を見ると、これから1か月ほど後に医療の状態が切迫することが懸念されます。第1・2波の傾向や病気の特性から見ると、感染者数が増え続けていると、重症者数が増え続ける可能性があります」(田中医師)

重症者が増えて病床が足りなくなれば、患者の受け入れ率が一気に下がる。感染者が入院しようとしても受け入れ



自宅からリモートで診察してもらえれば、体調が悪いなか、わざわざ外出しなくてすむ

先がなく、たらい回しにされる可能性は高くなる。

感染防止のためにも苦手なネットに挑戦

医療崩壊が長引けば、重症化した高齢者の治療が後回しになるおそれもあるという。

「ただ、日本はそんな割り切ったことはできないでしょう。患者の年齢によって治療の線引きをすることはありません」(前出・植田さん)

しかし、海外を見ると実際、スウェーデンでは、中高年や若年層を助けるため、70歳以上の重症者の治療は控える方針をとった。

危機的な状況下では、日本でもこうした判断がとられる事態にもなりかねない。

さらに高齢者の感染拡大が介護崩壊を引き起こす。

前出の植田さんによると、「高齢者の感染を防ぐため『デイサービスに行けない』『福祉サービスを受けられない』などが起きることも考えられます」

在宅で介護しようにも、濃厚接触を懸念して介護ヘルパーが来る頻度が減ることもありうる。そうなれば家族の負担が増え、共倒れになる危険性がある。

「高齢者は特に感染に気をつけなければなりません。不要な外出を極力控え、お子さんやお孫さん、若い人と接触を

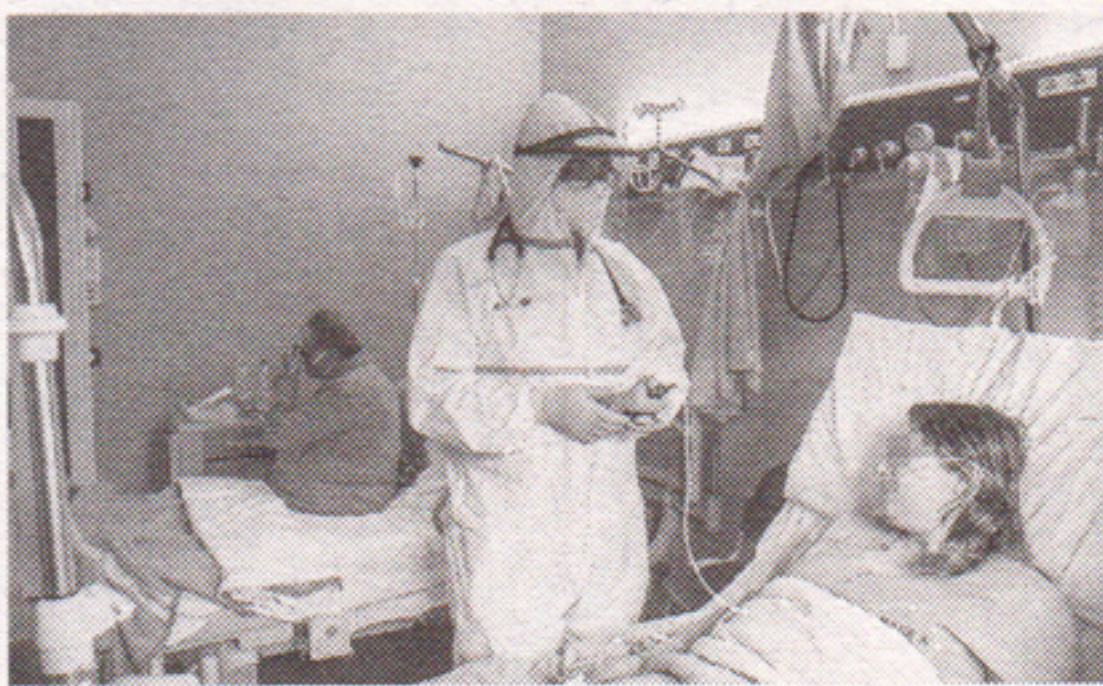
感染・生活危難8つの備え

- 1 自宅のインターネット環境を整える
- 2 ネットスーパーや通販サイトなどに登録する
- 3 外食は少人数で。屋外にも席があるなど、なるべく換気のいい店を選ぶ
- 4 風邪薬、痛み止めなどの常備薬をストックしておく(基礎疾患がある人は医師と相談)
- 5 オンライン診療ができる病院をあらかじめ探しておく
- 6 ネットバンクを開設しておく
- 7 ブランド品など高額な買い物や余計な買いだめは控える
- 8 新たなローンは組まない

しないなど、介護崩壊を招かないためにも自衛は大切です」(前出・同)

接触を減らすためには自宅

でネット環境を整えること。ネットを苦手とする人もいるかもしれないが離れて暮らす子や孫とはリモートでやりとりしてみよう。買い物も宅配



イタリアでは依然、緊急事態が続く。集中治療室の入院患者を励ます医療関係者 11月17日

やネットスーパーを利用するなど対策をとりたい。

だが、あまりに感染を恐れすぎても別の問題が出てくる。持病の悪化だ。

「長期間、診療を受けられなかったことで、もともとの病気の悪化に気づかず過ごしていることもあります。自粛期間で活動量の低下あるいは食生活の乱れによって、血圧が上がった」「糖尿病が悪化した」「患者さんに出会うこともしんどいがあります。新型コロナウイルスを恐れるあまり、持病の悪化を放置してしまうことは地域のクリニックの医師が抱える懸念のひとつです」

前出の田中医師は続ける。「アメリカの報告ですが、新型コロナウイルス感染以外の病気の受診率、入院率が下がったようです。ただし、今年急に従来の病気が減っているとは考えにくく、治療や検査

コロナ感染 大爆発 迫る5つの生活危難

11月の3連休最終日の東京・原宿。マスク姿の人が目立つものの、買い物客であふれていた。この日は天気もよく、外出する人が多かった。11月23日



をせずに病気を抱えたまま過
ごしている可能性があります」
基本的には受診は継続したほ
うがよいのだが、
「状態が安定していて病状の
コントロールがうまくいって
いるのであれば、医師と相談
してオンライン診断や電話再
診を活用するのも手です」
しかし、どうしても通院が
必要な患者もいる。
「発熱している」「発熱して
いない」で分けて、考えまし
よう」（田中医師）
前者では受診予定のクリニ
ックに電話。発熱対応をして
いるか、診察時間、待機場所
など必要事項を確認する。
後者でもあらかじめ電話を
したり、ネットで確認。クリ
ニックがそれぞれで行ってい
る感染症対策に従おう。
さらに市販の風邪薬や胃薬
などの常備薬も多めにストッ

給与カットと増税で 家計が火の車に

感染だけでなく、経済の崩
壊による生活の危機も深刻
だ。倒産、希望退職募集、ボ
ーナスカット、給与減、自殺
者増大……そんな暗いニュー
スが連日、報じられている。
小池百合子東京都知事は11
月28日、都内の飲食店に対し
20日間の時短営業を要請。大
阪府も同様の要請を表明。さ
らに北海道や愛知県も続くと

クしておこう。不調は早めに
手を打って悪化させずに治す
ことも心がけること。
また、巣ごもりが続くと気
分が落ち込みやすくなり、ス
トレスもたまりがちに。前述
したオンラインを活用して家
族や友人の顔を見ながら積極
的にコミュニケーションをと
ることも大切だ。

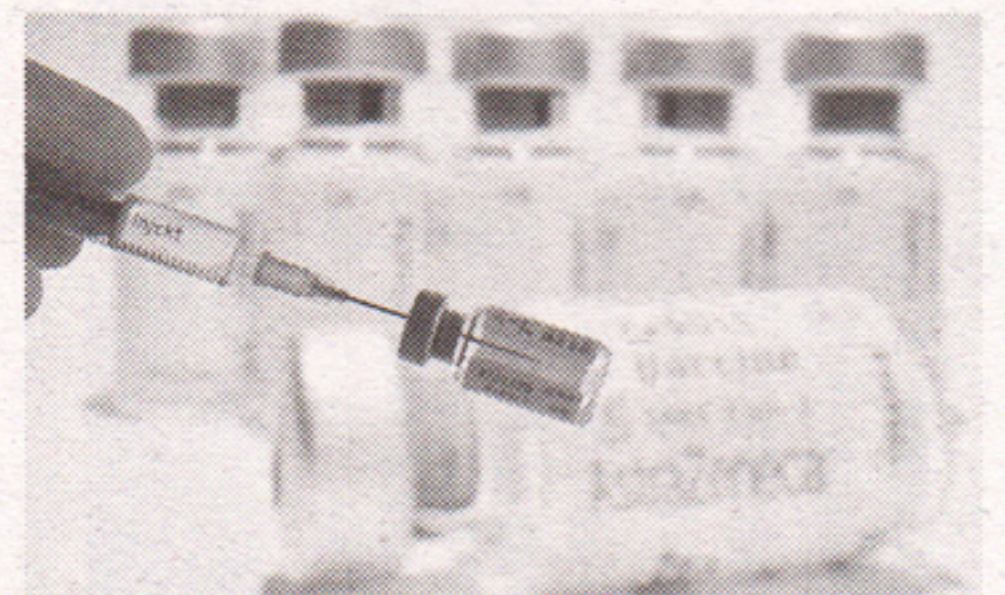
みられている。



感染拡大防止を呼びかける小池東京都知事。「5つの小」は話題になった=11月20日

「外出自粛で人の往来が少な
くなり、時短営業になれば飲
食店は大打撃を受けます。店
舗が閉店して企業が倒産すれ
ば、失業者も増える」
緊急事態宣言が再び出され
ると、経済はますます危機的
な状況に近づく。さらに、
「大手企業はすぐには潰れな
いだけの蓄えがあります。し
かし中小零細企業や個人事業
主は非常に厳しくなる。企業
もお店も、生き延びるための
体力を使い果たした来年の春
先がいちばんきつくなるとみ
られています。救済策がなく
感染者が増え続けて、経済が
停滞したままならバタバタ倒
産していくおそれがあります」
飲食店や小売業のほか、イ
ンバウンド狙いの観光地や地
方都市はさらに厳しい状況に
なるだろう。
経済の悪化は感染者数増加

と同じくらい深刻な問題だ。
「本当なら経済も感染も両方
一緒に考えなくてはならな
い。なのに政府は「GOT
0」ばかりに目を向けている
のでおかしなことになってい
るんです。今のままだと感染
防止対策も経済の立て直しも
両方とも立ち行かなくなりま
すよ」
と萩原さんは厳しく指摘。
給与が減ることが目に見え
ているが、それに追い打ちを
かけるのが増税の可能性だ。
「内閣の支持率も下がってる
ので、消費税を上げることが
ないでしょう。ですが、ほか
の形での増税はありえます」
（萩原さん）
例えばコロナ禍でこうむつ
た損失を補填するため『コロ
ナ復興税』というような新た
な税制の導入も考えられる。
ほかにも所得税を少しずつ
引き上げる、社会保険料を上
げるなど、家計負担は増えて
いくとみられる。
生活防衛のための方策を萩
原さんがアドバイス。
「先が見えないため、まずは
現金を確保すること。高額な
買い物をして、新しいロー
ンを組まないなどして貯蓄を
増やすことが大切です。感染
拡大を受け、マスクやトイ
レットペーパーの不足を再び心
配する人もいるかもしれませ
ん。でも買いだめしたり、ド
ラッグストアに並ぶ必要はあ



世界各国でワクチンの研究開発、製造が急ピッチで行われている

りません。余計なお金は使わ
ないことです」
この悪夢のような状況下で
希望となるのがワクチンの開
発、実用化や集団免疫がつく
ことだ。猛威がおさまるま
で、なんとしても耐えて生き
延びるしかない。このお正月
は昨年までと違うと認識する
ことが重要だという。
「家庭内感染を防ぐため、鍋
やおせち料理は事前に取り分
けて提供してもいいと思いま
す。離れて暮らす家族や親戚
への新年の挨拶はリモートで
利用。接触しないことは感染
の対策になります」（同）
いつもの年末年始の風景と
は変わってしまうが、これが
命を守るための行動。前出の
田中医師は訴える。
「マスクの着用」「手洗いの
徹底」「3密を避ける」は個
人ができる効果的な感染防止
策です。粘り強く
取り組んでいきま
しょう」

